



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月14日

上場会社名 株式会社 オーシャンシステム
 コード番号 3096 URL <http://www.ocean-system.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 勝人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員社長室長 (氏名) 山田 秀樹

TEL 0256-33-3987

四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	43,564	12.0	875	7.1	941	6.3	553	0.9
30年3月期第3四半期	38,890	2.2	818	1.1	885	3.2	548	0.0

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 481百万円 (12.9%) 30年3月期第3四半期 552百万円 (15.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	56.25	
30年3月期第3四半期	55.72	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	18,116	6,909	38.1	701.89
30年3月期	16,772	6,543	39.0	664.72

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 6,909百万円 30年3月期 6,543百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		6.00		6.00	12.00
31年3月期		6.00			
31年3月期(予想)				6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,500	10.6	1,150	26.3	1,200	21.3	610	21.2	61.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	10,833,000 株	30年3月期	10,833,000 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	989,121 株	30年3月期	989,121 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	9,843,879 株	30年3月期3Q	9,843,879 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境は改善傾向が持続し、堅調な企業収益の下支えにより景況感の改善が見られているものの、中国経済の減速や米国の保護主義姿勢の強まりなど景気の先行きは依然として不安定な状況が続いております。

食品業界におきましても、人件費の負担増は引き続き収益に影響を及ぼし、物流コストの上昇やネット販売の需要拡大、及び異業種からの参入により競争が激化するなど依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループはお客様第一を念頭に置き、付加価値のある商品提供に注力しました。また、老朽化した設備を更新し食の安全・安心へ取り組むことで企業価値の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は435億64百万円（前年同期比12.0%増）、営業利益は8億75百万円（前年同期比7.1%増）、経常利益は9億41百万円（前年同期比6.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億53百万円（前年同期比0.9%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(スーパーマーケット事業)

スーパーマーケット事業につきましては、年間最大の繁忙期である年末商戦が好調に推移しました。また、一部店舗では近隣の同業他社の出店やドラッグストアといった異業種からの進出による影響もありましたが、年間を通じて鮮魚等の対面販売や業務用食品を取扱っている当社の特色を活かした販売強化に努めたこと、及び主力商品の重点販売を行ったことにより売上高は前年同期を上回りました。しかしながら、社会保険適用拡大を始めとする制度変更の影響から人件費は増加し、セグメント利益は前年同期に比べ減少しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高は173億71百万円（前年同期比0.6%増）、セグメント利益は3億90百万円（前年同期比14.5%減）となりました。

(業務スーパー事業)

業務スーパー事業につきましては、子会社である㈱カワサキが10月に11店舗目となる「業務スーパー神栖店」（茨城県神栖市）をオープンし、営業エリアの拡大を図った一方、各店舗の消費動向や商圏を見直した結果、2店舗を閉店しました。

また、飲食店へのポスティング活動や折り込みチラシなど新規顧客の開拓を継続して行ったことと、既存のお客様にはメールマガジンでお買得情報などを配信し、集客力の向上に努めたことにより売上高は前年同期に比べ増加しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高は160億92百万円（前年同期比37.2%増）、セグメント利益は3億74百万円（前年同期比21.6%増）となりました。

(弁当給食事業)

弁当給食事業につきましては、千葉工場における惣菜等の受託量及び事業所向け宅配弁当の食数が増加したことと、企業内食堂の運営受託部門において受託施設数が増えたこと、ならびに学校給食施設の改修に伴う臨時の弁当受注があったことにより売上高は前年同期に比べ増加しました。

しかし、11月に「フレッシュランチ39新潟店」を新潟市江南区へ移転したことで、初期経費や減価償却費及びリース料などの固定費が発生したこと、ならびに、売上の伸長に伴う人員の増加と製造部門の時給者単価の上昇により人件費が増加し、セグメント利益は前年同期に比べ減少しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高は59億47百万円（前年同期比4.4%増）、セグメント利益は2億71百万円（前年同期比8.5%減）となりました。

(食材宅配事業)

食材宅配事業につきましては、ケアハウスや福祉施設などへの食材販売を行う「ヨシケイキッチン」の契約施設数が増加し、同部門の売上高は増加しました。また、主力商品である一般家庭向け「すまいるごはん」については、新潟支店において、10月に1週間で5日以上ご注文のお客様に人気メニューが1日格安となる販売企画を行い同月の販売セット数は増加しましたが、累計期間の販売数は前年同期に及びませんでした。

利益面につきましては、青果類の相場が比較的安定して推移したことなどにより前年同期を上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高は35億11百万円（前年同期比0.4%減）、セグメント利益は2億29百万円（前年同期比20.3%増）となりました。

（旅館、その他事業）

旅館「海風亭 寺泊 日本海」につきましては、新聞及び雑誌広告等の宣伝効果によりレストランの利用客及び一般の宿泊者数は増加し、また県内及び近隣県への営業活動により旅行代理店からの送客による昼食利用も前年同期に比べ増加しました。

定食屋「米どころん」につきましては、銀座3丁目店において隣接したホテルと提携し、ホテルの宿泊者への朝食サービスの提供を始めました。また、西本町店につきましては、11月より直営店舗からフランチャイズ店舗に変更いたしました。なお、他の店舗につきましても、看板メニューの開発に注力し、居酒屋スタイルやサラダのビューフェスタイルを取り入れるなど、特色を出して好評は得ているものの、客数は前年に及びませんでした。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高は6億41百万円（前年同期比4.4%減）、セグメント損失は65百万円（前年同期はセグメント損失83百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ13億43百万円増加し、181億16百万円となりました。これは主に、年末商戦に伴う売上増加により売掛金が2億55百万円及び商品が2億円増加したこと、ならびに弁当給食工場の移転に伴う固定資産の取得により有形固定資産が8億31百万円増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ9億77百万円増加し、112億6百万円となりました。これは主に、年末商戦の仕入増加により買掛金が7億60百万円増加したこと、及び短期借入金が増加したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億65百万円増加し、69億9百万円となりました。これは主に、利益剰余金が4億38百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は0.9ポイント低下し、38.1%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、実績と今後の見通しを勘案し、平成30年5月14日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,324,181	2,260,585
売掛金	1,153,092	1,408,846
商品	1,551,610	1,751,675
原材料及び貯蔵品	124,355	125,906
その他	432,843	667,754
貸倒引当金	△3,640	△2,610
流動資産合計	5,582,443	6,212,157
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,125,618	4,534,404
土地	3,478,042	3,612,033
その他（純額）	653,530	942,519
有形固定資産合計	8,257,191	9,088,957
無形固定資産		
のれん	323,287	271,067
その他	259,094	272,014
無形固定資産合計	582,382	543,082
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	114,950	117,264
その他	2,250,944	2,167,522
貸倒引当金	△15,383	△12,751
投資その他の資産合計	2,350,511	2,272,035
固定資産合計	11,190,085	11,904,075
資産合計	16,772,529	18,116,233
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,060,211	3,820,331
短期借入金	907,094	1,398,500
未払法人税等	111,547	168,287
賞与引当金	203,806	87,472
その他	1,670,362	1,866,895
流動負債合計	5,953,022	7,341,487
固定負債		
社債	600,000	600,000
長期借入金	2,313,080	1,829,060
リース債務	140,853	313,517
退職給付に係る負債	15,063	15,994
役員退職慰労引当金	140,310	125,500
資産除去債務	631,230	577,291
その他	435,519	404,109
固定負債合計	4,276,056	3,865,473
負債合計	10,229,079	11,206,960

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	801,710	801,710
資本剰余金	366,781	366,781
利益剰余金	6,013,879	6,452,164
自己株式	△751,653	△751,653
株主資本合計	6,430,718	6,869,002
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	106,581	38,587
退職給付に係る調整累計額	6,149	1,683
その他の包括利益累計額合計	112,731	40,270
純資産合計	6,543,449	6,909,272
負債純資産合計	16,772,529	18,116,233

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成30年4月1日 至平成30年12月31日）
売上高	38,890,626	43,564,530
売上原価	29,149,153	32,878,796
売上総利益	9,741,472	10,685,733
販売費及び一般管理費	8,923,461	9,809,790
営業利益	818,011	875,943
営業外収益		
受取利息	14	17
受取配当金	9,012	9,012
受取家賃	15,350	17,744
その他	60,137	61,280
営業外収益合計	84,514	88,054
営業外費用		
支払利息	11,497	14,635
その他	5,685	7,835
営業外費用合計	17,182	22,471
経常利益	885,343	941,526
特別利益		
固定資産売却益	435	200
受取保険金	5,121	17,085
特別利益合計	5,556	17,285
特別損失		
固定資産売却損	8,920	—
店舗閉鎖損失	—	5,750
災害による損失	3,675	14,599
その他	4,448	5,880
特別損失合計	17,043	26,230
税金等調整前四半期純利益	873,856	932,581
法人税、住民税及び事業税	157,753	291,148
法人税等調整額	167,585	87,733
法人税等合計	325,338	378,881
四半期純利益	548,517	553,700
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	548,517	553,700

（四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日）
四半期純利益	548,517	553,700
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,673	△67,994
退職給付に係る調整額	△5,535	△4,466
その他の包括利益合計	4,137	△72,461
四半期包括利益	552,655	481,239
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	552,655	481,239
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	スーパー マーケット 事業	業務 スーパー 事業	弁当給食 事業	食材宅配 事業	旅館、 その他事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	17,264,241	11,732,870	5,697,317	3,524,911	671,285	38,890,626	—	38,890,626
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,910	166	120,823	11,716	3,644	138,262	△138,262	—
計	17,266,152	11,733,036	5,818,140	3,536,628	674,930	39,028,888	△138,262	38,890,626
セグメント利益 又は損失(△)	456,532	308,121	296,264	190,963	△83,889	1,167,991	△349,980	818,011

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△349,980千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△350,459千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用であり、その主なものは管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「業務スーパー事業」セグメントにおいて、株式会社カワサキの株式の取得に伴い、当第3四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は336,416千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成30年4月1日至平成30年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	スーパー マーケット 事業	業務 スーパー 事業	弁当給食 事業	食材宅配 事業	旅館、 その他事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	17,371,259	16,092,468	5,947,464	3,511,404	641,932	43,564,530	—	43,564,530
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,855	179	131,462	13,947	3,401	150,847	△150,847	—
計	17,373,115	16,092,648	6,078,926	3,525,352	645,334	43,715,377	△150,847	43,564,530
セグメント利益 又は損失（△）	390,198	374,807	271,039	229,661	△65,896	1,199,811	△323,867	875,943

(注) 1 セグメント利益又は損失（△）の調整額△323,867千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△324,344千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用であり、その主なものは管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。